

護衛艦「いずも」 —我が国最大の護衛艦— The Biggest Destroyer in Japan JS “IZUMO”



艦船事業本部 企画・開発部
横浜事業所

対空及び対水上の自艦防御用に、艦の前後に高性能20mm 機関砲 2 基、対艦ミサイル防御装置 2 基を装備している。

対潜関係では、艦首船底に潜水艦捜索用ソーナー、艦中央部に魚雷防御装置を 1 式装備している。

2.2.3 航空機運用システム

後部に航空管制室を配置したアイランド型艦橋構造を右舷端に持ち、飛行甲板に 5 つの発着艦スポットを設けて同時に 5 機のヘリコプタ発着艦が可能である。これは、「ひゅうが」型の 4 か所から 1 か所増えている。

艦内には洋上で機体の保管及び整備が行えるように格納庫と 2 基のエレベータが設けられている。格納庫内には 9 機のヘリコプタが格納可能で、機体を固定する係止金物、消火装置、防火シャッター、各種車両の車庫などが装備されている。

2.2.4 災害派遣等関連システム

格納庫へのサイドランプを使用したトラックなどの自走搭載、ヘリコプタによる輸送、指揮中枢となる艦内の多目的区画、衛星通信装置など多種の通信設備、便乗者に対応する居住設備、充実した医療設備などを活用し、災害派遣や国際緊急援助活動などに有効に対応することができる。

1. はじめに

本艦は全通型飛行甲板を持つヘリコプタ搭載護衛艦「ひゅうが」型を発展・大型化させた「いずも」型の 1 番艦で、2015 年 3 月 25 日に就役、海上自衛隊に引き渡された。本艦の主な特徴を紹介する。

2. 本艦の特徴

2.1 通常の護衛艦とは異なる機能

2.1.1 中枢艦機能

「いずも」は、海上自衛隊の護衛艦隊において、ヘリコプタを多数運用する航空機運用中枢艦、高い指揮通信能力を活かした指揮中枢艦としての役割を果たすことができる。

2.1.2 搭載輸送機能

大きな船体と航空機運用能力により実現される搭載輸送能力や医療設備の充実により、近年増加している災害派遣や国際緊急援助活動などにおいても本艦を有効に活用することができる。

2.2 各システム

2.2.1 推進システム

推進システムは、4 基の艦船用ガスタービン、2 基の減速装置、左右独立の推進軸と 2 基の可変ピッチプロペラにより構成されている。

2.2.2 武器システム

艦内には通信網に光ファイバを使用した高速大容量の艦内統合ネットワークを持ち、無線通信装置は様々な通信機とアンテナによって構成され、指揮中枢艦として通信速度が速く容量も大きい衛星通信装置などが充実している。

表 1 「いずも」主要目

Table 1 JS “IZUMO” Principal particular

全長	248.0 m
最大幅	38.0 m
型深	23.5 m
基準排水量	19,500 t
乗員	本艦 470 名
主機関形式・出力	COGAG 112,000 馬力
推進器	CPP 2 基